

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習センターESCO事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	戸部 孝彰				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習センターの空調設備・照明設備等	意図	ESCO事業により老朽化した設備を更新し、安定した施設環境を得ながら、環境負荷の大幅な削減・コスト削減等を図る。
事業内容	ESCO事業により、最新の空調設備・照明設備を導入し、かつ設備保有リスクをESCO事業者へ転嫁することで、管理者は施設経営に集中することが可能となり、更なる施設サービスの向上が期待できる			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年にESCO事業の工事が行われ、平成26年からESCO事業により更新した設備が稼働し光熱水費を大幅に削減することができた。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 生涯学習センターの年間の光熱水費		17,905	12,510	千円	↓↓↓	決算書の光熱水費の金額
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成25年度は年度途中でESCO事業に係る工事が終了し、平成26年から更新した設備が本格稼働となった。生涯学習センターの指定管理者から報告された決算書の光熱水費は、平成25年度は17,905千円、平成26年度は12,510千円で、5,395千円の削減となった。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				17,633,831			
事業費(b)(円)				15,561,051			
うち一般財源				15,561,051			
職員給与費(c)(円)				2,072,780			
人役・職員(人)				0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	平成25年度にESCO事業の工事を実施し、平成26年度に更新となった設備が稼働。	③取り組みの課題	環境負荷を更に削減すること。
②今年度(H26)に実施した取り組み	市とESCO事業者とで締結した解約書にある削減保証額を平成26年度の指定管理料から減額した協定書を締結した。	④今後の改善計画	平成28年度から更新となる指定管理料の減額